

令和6年度事業計画

1. 生活習慣病予防・健康管理に関する事業

がん対策基本法に基づき、県民全体のがん予防を推進するため、検診車の派遣等によるがん検診、県民健康センターでのがん検診を含めた健康診査事業を行い、一元的管理による効果的ながん対策に取り組むとともに、必要な情報の提供等を行う。

事業経費（総額） 661,493千円

(1) がん検診事業

①精度管理の維持・向上

がん検診の信頼性・実効性を担保する精度管理の重要性を踏まえ、計画的な機器更新を行い、その一層の向上に努める。

- ・乳がん検診読影デジタル化の推進（2施設追加）
- ・乳がん検診車更新にむけた準備（補助金申請・整備等）
- ・子宮がん検診HPV検査単独法導入について検討

②受診者確保事業

市町を超えた広域的な検診（広域検診）の促進や特定健診実施事業者との連携強化により受診者増を図る。

- ・特定健診とがん検診をセットにした職域検診や小規模事業所出前検診の実施
- ・県、市町と協力した女性のための休日検診の実施
- ・県民健康センターを活用した乳がん個別検診の拡充

③業務効率化

アウトソーシングの見直しやIT化推進により効率的な運用を行う。

- ・県民健康センター受付とがん検診結果処理業務の一本化委託
- ・IT化促進のための職員研修や専門家への相談

(2) がん検診受診勧奨事業

検診や精密検査未受診を対象に勧奨を行い受診率向上を目指す。また市町の要望を把握し、受診勧奨センターの内容充実を図る。

勧奨人数：5,000人（5年度見込み：4,500人）

- ・市町の要望に応じた電話によるがん検診受診勧奨
- ・特定健診未受診者を対象とした圧着ハガキでのがん検診受診勧奨
- ・精密検診未受診者に電話による受診勧奨
- ・精密検診対象者（肺がん、大腸がん）にチラシを同封した受診勧奨

がん検診受診者数

(単位：人)

区 分	6年度計画		5年度見込み	
	集団	個別	集団	個別
胃がん	8,400	10,200	7,500	9,600
大腸がん	29,800	20,000	28,700	19,800
肺がん	X線	25,650	22,000	22,000
	喀痰	300	150	100
子宮がん	9,000	14,800	9,000	15,000
子宮がん(妊婦)	-	4,600	-	4,600
乳がん	10,400	9,700	10,200	9,900
計	83,550	81,450	80,900	81,000
合 計	165,000		161,900	

(3) 健康情報発信事業

がんをはじめとする健康に関する正しい情報の発信・普及啓発に努める。また、啓発活動や取り組み状況を広く発信するための仕組みづくりを行い、協会の認知度向上を図る。

- ・県のがん情報ポータルサイト「がんネットふくい」やホームページの内容充実
- ・市町の啓発イベントにおいてピンクリボンアドバイザーの活用
- ・県民健康センター館内の健康情報提供の強化

(4) 健康診査事業(県民健康センター)

健診の精度管理と感染症対策を含めた施設運営の安全管理に努め、健康診査を実施する。また、受診者意見や要望を積極的に把握し、健診内容の充実、利用者の利便性向上に努め、利用者増を図る。

① 受診者確保事業

従来の大口顧客（地方職員共済組合、公立学校共済組合等）との関係強化や、特定保健指導の強化により受診者増加に努める。また、コロナ禍により休止していた肺活量検査の再開や受診者のニーズ調査により満足度向上を図る。

- ・SNSを活用し健診の特色のアピール

- ・女性の健康支援を目的とした「女性の健診日」の周知
 - ・オプション検査や特定保健指導の勧誘の強化
- ② 利用者の利便性向上
- 受診者の要望に応じ、健診体制の整備に努め利便性の向上を図る。
- ・御意見箱による受診者の意見要望の反映と業務改善

コース別受診者数

(単位：人)

コース名	6年度計画	5年度見込み
総合	1, 3 3 0	1, 3 3 0
一般健診	3, 7 6 0	3, 7 4 0
特定健診	3 0	3 0
特定保健指導	2 2 0	1 8 0
その他の健診	3 4 0	3 3 0
計	5, 6 8 0	5, 6 1 0

(5) 無料健康相談・無料健康講座事業(県民健康センター)

一般県民を対象に県民健康センターにおいて、健康・ストレス・病気等に関する講座や相談を実施する。

利用人数：3 1 0 人（5年度見込み：3 0 0 人）

(6) 啓発・キャンペーン事業

9月の「がん征圧月間」、10月の「ピンクリボン月間」をがん検診啓発月間とし、その期間中、イベントなどを集中的、連続的に展開する。またキャンペーンを通じてがん患者等の支援を行う。

① がん征圧月間（9／1～30）

他団体や企業と連携協力し、がん征圧月間広告等の掲示依頼、がん征圧月間ポスターや、パネル展開催、マスコミを利用した広告、広報活動等を強化して実施する。

② 県、市町との連携

県が開催する健康増進イベントへの協力および広報活動の連携や市町が開催する健康フェアへの参加を通じ、疾病予防と健康づくりの啓発活動に協力する。

③ 関係機関、団体等との連携

医師会やピンクリボンの会などの啓発活動に参画、協力を行う。

④ 日本対がん協会グループ福井県支部としての活動

リレー・フォー・ライフなどのイベント活動や患者支援活動を通じ啓発活動を行う。

⑤ 結核予防会福井県支部としての活動

啓発ブースの設置や結核予防ポスター等の配布、マスコミを利用した広告など啓発活動を実施する。結核予防週間（9／24～30）

⑥ 講演会・研修会の開催

市町が主催する講演会に講師派遣をするほか、従事者を対象に研修会を開催し専門分野に関する情報提供をする。

⑦ ふくいSDGsパートナーとしての活動

県民の健康づくりを支援するため、検診に関する啓発活動を実施する。（リレー・フォー・ライフイベント、ピンクリボンライトアップイベント）

2. 健康づくり・体力づくり・生きがいくづくり推進事業

県民の健康づくり・体力づくり・生きがいくづくりを推進するための各種教室の開催や施設の提供を行う。また、ホームページやSNS等を活用し施設情報を広く周知・拡散を行う。

事業経費（総額） 357千円

（1）健康増進各種教室・運動障害回復訓練事業

生涯を通じて積極的な健康づくりのために、運動・栄養・休養のバランスのとれた生活習慣の確立を目指して健康増進各種教室を実施するとともに、女性や親子を対象とした健康づくり教室やイベントの実施、事業所向け出前講座の企画、発信による利用者増に努める。また作業療法士による地域リハビリテーション事業（地域支援事業）の運動障害回復訓練事業を実施する。

健康増進各種教室利用人数： 590人（5年度見込み 560人）

運動障害回復訓練利用人数： 2,850人（5年度見込み 2,780人）

（2）施設の提供事業

健康増進を目的とした会議室や研修室等の貸出、がん教育やイベント教室等でのエントランスホールや運動指導室の利活用に努める。また、安全安心な施設の管理運営に努める。

利用者数： 110人（5年度見込み： 80人）

3. 健康管理・健康づくりに関する広報、調査研究事業

がん検診を含めた生活習慣病予防・健康管理に関する事業と健康づくり・体力づくり・生

きがづくり推進事業に関する事業等、協会の事業全体の広報や調査研究を行う。

事業経費（総額） 1, 365 千円

（１）研究・研修事業

① 研究会等への参加および開催

がん検診に関する読影精度の向上など健康管理・健康づくりの技術の進歩を図るため、各部位別研究会等へ参加および開催する。また学会等へ参加し研究成果を発表する。

令和6年度計画：26回（5年度見込み：26回）

② 研究事業への支援・協力

がん検診を県下一元的に実施していることを生かし、各研究への協力をを行う。

・AMEDの実施する肺がんCT研究「低線量CTによる肺がん検診の実用化をめざした無作為化比較試験および大規模コホート研究」における検査協力

（２）広報活動

がん検診事業、県民健康センター管理運営事業の周知、PR活動を行う。

- ・ホームページのレイアウト等改善によるPR強化
- ・温泉・スポーツ施設指定管理者と連携した広報活動

4. 法人管理

健康管理協会の法人全体の管理、運営等を行う。

事業経費（総額） 5, 758 千円